



令和元年 12月1日現在 iP-U 受講者数
 基盤プラン 39名
 才能育成プラン 13名

Vol.6



iP-U レターズ

incubation Program for innovative students at Utsunomiya University

発行元：iP-U 事務局 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350 宇都宮大学 Tel.028-649-5411 / 発行日：令和元年 12月1日

グローバルサイエンスキャンパス 令和元年度全国受講生研究発表会が行われました

11月16日(土)-17日(日) / 日本科学未来館



日本科学未来館前で

全国受講生研究発表会は、全国のグローバルサイエンスキャンパス (GSC) の代表が一堂に会して、日頃の研究成果を発表し、交流を深めるものです。iP-U からは、基盤プラン・才能育成プランの8名の受講生が参加してきました。

初日のポスター発表には、9分野・39の研究がエントリーし、iP-U からも3グループ4名が審査員や受講生へ向けて発表してきました。夕方からの交流会

は、全国を受講生代表や先輩研究者、大学教員と交流し、思う存分語り合える絶好の機会です。用意してきた自分の名刺を握りしめ(名刺交換!）、今後の研究や展望に生かすべく、意見交換してきました。

2日目は、前日のポスター発表から口頭発表へ進んだ10組による発表が行われ、神戸大学 GSC 受講生の研究「プラナリアの体長の測定方法の確立」が文部科学大臣賞を受賞しました。

ポスター発表した iP-U の受講生は、全国受講生研究発表会に向けて、研究を進めるだけでなく、ポスターやスライドの作成やプレゼンの練習のために何度も大学に通い、夜遅くまで残ることもありました。全力で取り組み、素晴らしい発表をしたことを称えます。また、発表のなかった受講生も、全国を受講生の研究を目にし、今後の研究・学習活動に向けてモチベーションを高める機会になったのではないのでしょうか。

iP-U は、皆さんが大学で研究し、学会で発表したり学術論文投稿することを支援するプログラムです。来年4月の iP-U 修了式には、合わせて成果発表会も開催されます。皆さんの研究成果(必修科目や選択科目の授業、課題などから膨らませて OK です)を、ポスター発表や口頭発表を目標にして、基盤プランの残り4か月を **V W** (ビジョン+ハードワーク) してみませんか。



ポスター発表された
 研究テーマ一覧はこちら

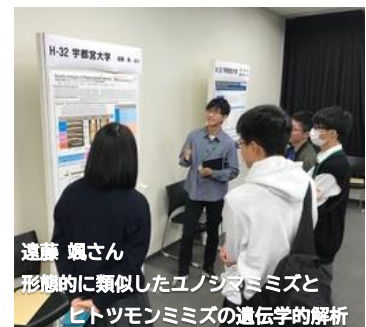
発表された研究分野
化学
生命科学・医科学
環境
地学
工学
情報
総合・その他
生物
物理



安田 遥希さん
 ロボットのセンシングと自律移動に関する研究



江原 環さん・鬼澤璃乃さん
 天然記念物ミヤコタナゴの遺伝学的解析



遠藤 楓さん
 形態的に類似したエノゾマミミズとヒトツモンミミズの遺伝学的解析